

3月「熊本県人権センター人権啓発映画上映会」スケジュール

月	日	部	上映開始時刻	上映作品名	番号 時間	関連する 人権課題等
3月	5日	午前の部	11:15-	失われたいのちへ誓う 東日本大震災が教えたこと	A109 20分	災害と人権 人権全般
		昼の部	12:15-	ヒューマン博士と考えよう - 差別から人権の確立へ -	F73 28分	同和問題
		午後の部	13:15-	ほんとの空	A112 36分	高齢者の人権 外国人の人権 災害と人権 人権全般
	6日	午前の部	11:15-	防ごう子どもの虐待 (日常の子育てから考える)	C71 25分	子どもの人権
		昼の部	12:15-	失われたいのちへ誓う 東日本大震災が教えたこと	A109 20分	災害と人権 人権全般
		午後の部	13:15-	ヒューマン博士と考えよう - 差別から人権の確立へ -	F73 28分	同和問題
	12日	午前の部	11:15-	ほんとの空	A112 36分	高齢者の人権 外国人の人権 災害と人権 人権全般
		昼の部	12:15-	防ごう子どもの虐待 (日常の子育てから考える)	C71 25分	子どもの人権
		午後の部	13:15-	失われたいのちへ誓う 東日本大震災が教えたこと	A109 20分	災害と人権 人権全般
	13日	午前の部	11:15-	ヒューマン博士と考えよう - 差別から人権の確立へ -	F73 28分	同和問題
		昼の部	12:15-	ほんとの空	A112 36分	高齢者の人権 外国人の人権 災害と人権 人権全般
		午後の部	13:15-	防ごう子どもの虐待 (日常の子育てから考える)	C71 25分	子どもの人権

月	日	部	上映開始時刻	上映作品名	番号 時間	関連する 人権課題等	内 容	
3月	3月13日 上映分	作品紹介 (3月5日)						○作品名 失われたいのちへ誓う 東日本大震災が教えたこと
		東日本大震災は、豊かさや平和の中で、当たり前と思っていた生活のすべてが、実はかけがえのない、ありがたいものだったことを私たちに痛感させた。人と人との絆、一人ひとりのいのちを大切に生きる生き方を私たちはしていたのか？被災した人々、震災によって多くを失った人々の声を紹介しながら、私たちの今を振り返り、これからをどう生きるのかを共に考える作品。						
		○作品名 ヒューマン博士と考えよう - 差別から人権の確立へ -						
		日本の伝統的な芸能や文化が、差別された人びとの生産や労働に支えられてきたことなど、差別された人びとの歴史と暮らしに焦点を当てながら、私たちの歴史の中でつくられた偏見や差別の解消につなげていくことを目的に制作された作品。						
		○作品名 ほんとの空						
		高齢者や外国人に対する排除、不利益な扱い、同和問題や原発事故に伴う風評被害の問題、これら多くの人権課題に共通する根っここの部分は私たちの誤った考え方や思い込み、偏見という「意識」である。誤解や偏見に気づき人と深く向き合うこと、他者の気持ちや我がこととして思うこと。すべての人権課題を自分に関わることとして捉え、日常の行動につなげてもらうためのドラマである。						
		○作品名 防ごう子どもの虐待 (日常の子育てから考える)						
		子どもの虐待問題が深刻な社会問題となっている。虐待とは激しい暴力行為ばかりでなく、日常の中で、不適切な子育てを繰り返すことが虐待につながり、誰もが虐待の当事者になる可能性がある。本作品は日常の子育ての中で起しがちな問題点を示し、子どもの虐待を防ぐために私たちができることを描いたドラマ作品である。						

月	日	部	上映開始時刻	上映作品名	番号 時間	関連する 人権課題等	
3月	19日	午前の部	11:15-	青春のヒューマン・ステージ	A68 31分	同和問題 人権全般	
		昼の部	12:15-	わたしたちが伝えたい、大切なこと ～アニメでみる 全国中学生人権 作文コンテスト入賞作品～	A135 31分	人権全般	
		午後の部	13:15-	私たちにできること	J4 23分	犯罪被害者等 の人権	
	20日	午前の部					
		昼の部		祝 日			
		午後の部					
	26日	午前の部	11:15-	私たちにできること	J4 23分	犯罪被害者等 の人権	
		昼の部	12:15-	アイヌモシリ アイヌ民族の誇り	Z23 25分	アイヌの人々 の人権	
		午後の部	13:15-	青春のヒューマン・ステージ	A68 31分	同和問題 人権全般	
	27日	午前の部	11:15-	わたしたちが伝えたい、大切なこと ～アニメでみる 全国中学生人権 作文コンテスト入賞作品～	A135 31分	人権全般	
		昼の部	12:15-	私たちにできること	J4 23分	犯罪被害者等 の人権	
		午後の部	13:15-	アイヌモシリ アイヌ民族の誇り	Z23 25分	アイヌの人々 の人権	

月	日	部	上映開始時刻	上映作品名	番号 時間	関連する 人権課題等	内 容	
3月	3月19日 上映分	作品紹介 (3月19日)						○作品名 青春のヒューマン・ステージ
		演劇部員の女子高校生。家に帰ると、差別を乗り越えて結婚した姉が義父の発言が原因で戻ってきていた。そのことがきっかけで、同和問題と様々な人権問題の根っここのところでは同じだと学んでいく。						
		○作品名 わたしたちが伝えたい、大切なこと ～アニメでみる 全国中学生人権作文コンテスト入賞作品～						
		「全国中学生人権作文コンテスト」入賞3作品をアニメ化。どの作品も、日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気付きのプロセスを描いている。タイトルは次のとおり。「差別のない世界へ」「手伝えることはありませんか」「共に生きるということ」。						
		○作品名 私たちにできること						
		「犯罪被害者は、かけがえのない命を奪われたお父さんだけじゃなく、遺されたお母さんや妹も、犯罪被害者だと思います...。」						
		○作品名 0						
		アイヌの人々の生活や文化、歴史とともに、「開拓」の名のもとですすめられた「植民地化」や「民族差別」の実態を知ることができる。現在も残るアイヌの人々に対する差別の現状や、アイヌ民族であることを誇りとして様々な活動に取り組む人々の姿が紹介されている。アイヌの人々の人権について学ぶことができる作品						